

新部長 平岡太の中にある 新設 文化観光部は!

2011年4月4日 / 土



① 最大の敵は「常識」である。

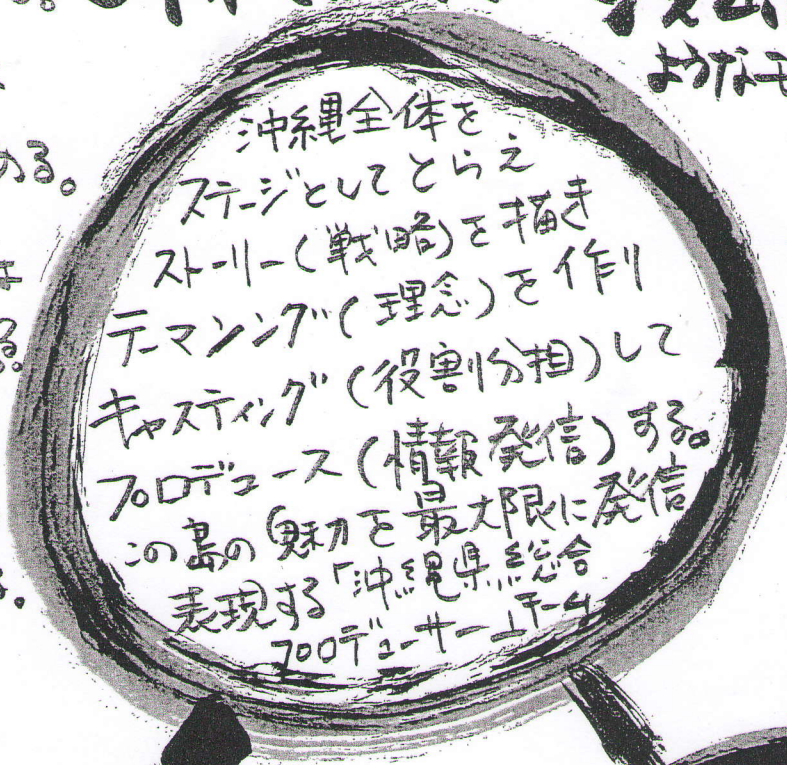
② 最大の武器は「若さ」である。

③ 最大の使命は「ジョイント」することである。

④ 最大の戦術は「イメージ」することである。

沖縄全県版演出家

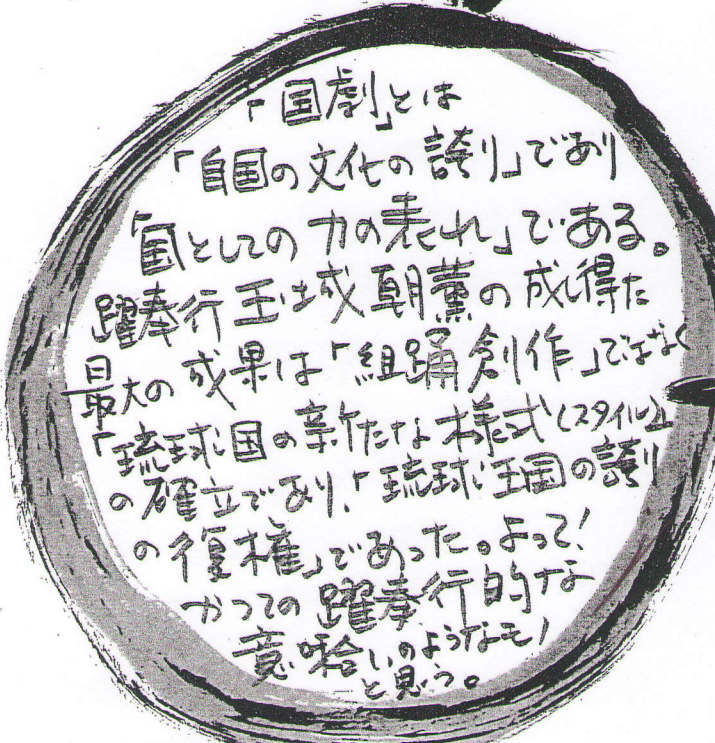
おなモ!



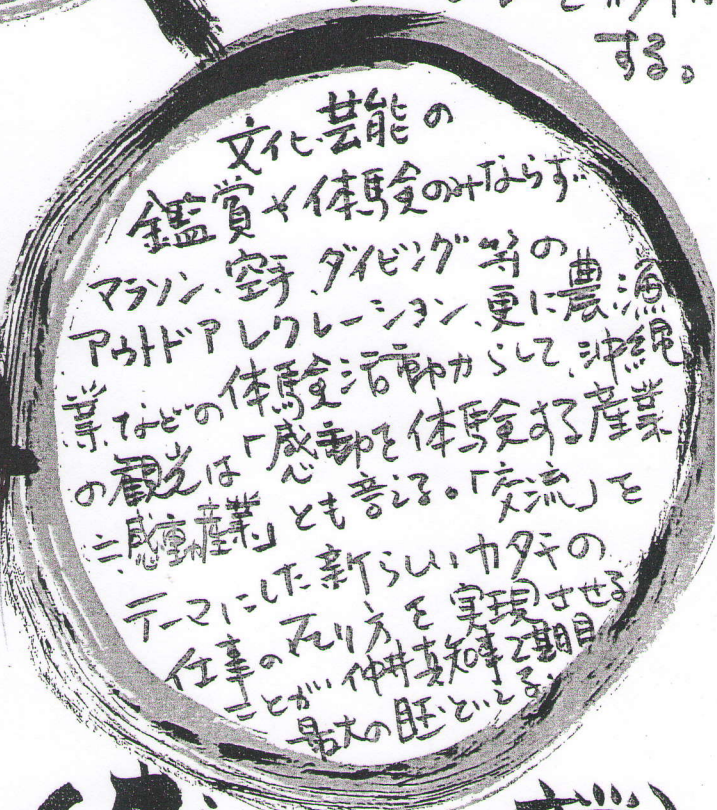
沖縄県全体を
ステージとしてとらえ
ストーリー(戦略)を描き
テーマ(理念)を作り
キャスト(役割分担)して
プロデュース(情報発信)する。
この島の魅力を最大限に発信
表現する「沖縄県総合
700プロジェクト」

⑤ とい震災後...
最大のkeyword
「命」である。

「命(いのち)」を軸に
した観光政策
次世代教育
沖縄から発信する
メッセージをカタチに
する。



「国劇」とは
「自国の文化の誇り」であり
「自国としての力の表れ」である。
躍奉行王城朝黨の成り得た
最大の成果は「組踊創作」にほかならぬ。
「琉球王国の新たな様式(スタイル)
の確立」であり、「琉球王国の誇り
の回復権」であった。ふっ!
かつの躍奉行的な
意気込みのようには
と見よう。



文化・芸能の
鑑賞や体験のみならず、
マリン、空、ダイビング等の
アウトドアレクリエーション、更に農漁
業などの体験活動からして、沖縄
の観光は「感動を体験する産業」
に成長産業とも音する。「交流」を
テーマにした新しいカタチの
仕事のあり方を実現させる
仕事にこそ仲井友和の理想
最大の胆と見よう。

現代版躍奉行の
おなモ!

(感動体験型産業)
感動産業クラスター構想の
実現